

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	1		14人

前回の改善計画	得た情報を把握していない、活かせていない。 →利用開始決定となった利用者の事前情報をみた職員はサインする。追加情報は連絡ノートに記入し共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送っている。初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11	3		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		13	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	10			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	7	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	サービス計画を元に、各担当者が会議の時に実施計画書を作成したり、わかる情報は連絡ノートに記載し職員に目を通してもらっている。①利用開始前に職員会議でケアマネから情報提供がある。①利用者の情報は周りの職員と話し合い共有している。①アセスメントシートや連絡ノートを活用し、共有できていると思う。①事前情報、追加情報を見たらサインをしている。利用開始前および開始後、管理者やケアマネが本人と家族と細かな情報交換をしている。②ミーティングの時などに情報を共有して支援している。②利用開始前に基本情報を見て、必要としている支援を提供している。③利用者の様子を見て声かけを多くするなどの気遣いをする努力をしている。③利用者とのコミュニケーションを心がけている。③利用者の立場と気持ちを考える。③利用者にとって、ここは安心して過ごせる場所であると感じてもらえるように支援している。④家族送迎でも自宅送迎でも家族の方には笑顔で接している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	基本情報以外の細かい情報を得られない。①せっかく憶えても忘れてしまうことが多い。①利用開始前にミーティングではなく資料に目を通し他の職員からの情報を耳にするが十分とは言えない。①情報収集に関わりながら徐々にしていることがある。①得た情報を常に把握できていない。
②	家族にとって必要としている点がわからないことがある。②利用者にとって不安や必要なことを満たしているかわからないことがある。④家族に的確なアドバイスができていない。④情報交換と関係作りができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不十分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 3月 1日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	7	1	14人

前回の改善計画	本人の目標、「〇〇したい」がわからない利用者がある。「〇〇したい」のかかわりが毎日ではできていない。→日頃のかかわりから本人の「〇〇したい」を聞き出し記録し共有している。ケアポイントを状況に応じ臨機応変に変更する。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃のかかわりから本人の「〇〇したい」を聞き出し記録して共有している。ケアポイントを本人の状態に合わせて変更し実現可能なものになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	10	3	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	10		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	8	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	7	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
③ 七夕や年末などのイベント時に本人の目標を聞き、記入している。②日々のかかわりの中でケアポイントをするようにしている。②利用者の心の中を理解するよう心を傾ける。②～したいについてミーティング等で職員間で共有している。③利用者に合った必要最小限の支援はできていると思う。③ケアポイントにしたがい、個々の支援をするようにしている。③一人一人のケアポイントが明確であり、概ねそれに基づいた支援ができている。③実践したケアポイントをタブレット入力し共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 本人の目標に近づける支援ができていない。②～したいをうまく引き出せている気がしない。③リハビリが必要な利用者への支援が不十分③目の前の事象に追われ、ケアポイントの裏側にある本人のゴールまで思いが至っていない。③できている利用者も何人かいるができていない利用者の方が多い。④職員会議で、ケース検討に当てる時間 (意見交換) が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアポイントに添った支援を行う。 各担当利用者に対する支援策を職員会議で提案し話し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

3. 日常生活の支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	5	2	13人

前回の改善計画	利用者の気持ち、プライドに適した言葉での声かけができず不快な思いをさせてしまうことがある。本人の好きなこと嫌いなことを十分意識せずにかかわっている。 →日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことを2つずつ挙げ、職員間で共有し支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃のかかわりから「好きなこと嫌いなこと」を2個ずつ挙げ職員間で共有し支援につなげた。利用者ごとにまとめセンター方式のファイルに綴じすぐ見られるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	8	3	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	12			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8	6		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		14			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②食事(常食・きざみ・おかゆ・少なめ)、排泄(オムツ、リハパン、トイレ誘導)は本人の状況に合わせて変化させている。②本人の希望を重視しメニューを決めている。②体調に合わせた入浴方法②介助は本人の残存能力の向上のため、必要最小限を行っている。③利用者の体調変化や顔の表情などを見たり、入浴時などに変化がある場合は看護師やリーダーに報告している。③④自分で気づいたことはなるべく他の職員に報告し情報の共有を図っている。④状況変化に応じた対応方法について連絡ノートや申し送り確認しやすくなっている。③④体調の変化や本人の気持ち、発言について職員間で共有できている。⑤本人の生活に添った介護をしている。その都度対応している。⑤高齢の利用者の気持ちを理解し「これから家に帰れます。良かったですね」と声かけしている。⑤利用者の好きなことなどを行い笑顔が見られる	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 以前の暮らし方、生活環境をあまり把握していない。①以前の暮らし方という視点が自分の中で欠けていた。①好きなこと嫌いなことを職員間で十分共有できていない。①本人の自宅での生活環境を把握していない。④体調不良の利用者に対して気づくのが遅い時がある。(家族からの連絡帳を読むのが遅い) ④ 時間的に対応不可能なことがある。⑤介助方法の共有化ができなかった。⑤支援の方法(どこまで本人にやってもらうか)について統一できていないところがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことのさらに新しい情報を得て、職員間で共有し支援につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		1	4	9	14人

前回の改善計画  
地域との関係は人それぞれの事情もあり難しい。家族が地域とのかかわりを希望していない。  
→今つながっている地域資源を一人一人の利用者ごとに書き出しその他必要な資源はあるか家族と考える。

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用者ごとに地域の資源をまとめた。家族にアンケートを取ってはいないが、職員がまとめた資源を家族に提案する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4	7	2	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	5	4	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	6	3	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	1	7	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
① 利用が長い利用者は、今までの生活スタイルをわかっている。  
② 地域の資源(病院、美容院、教会など)との関係が切れないように支援した。② 自宅送迎の時は利用者の近所の方にも挨拶している。② 独居の利用者に対しては、地域の方と交流している。  
② 送迎の際に家族と情報交換はしている。③ 本人の状況変化に応じ、家族とこまめな情報交換を行い、最善の方法を検討している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
① 本人のこれまでの生活や人間関係がわからない。③ 自宅での過ごし方がわかっていない。③ コロナ禍でもあり、他人の家なので深入りできない。③ 家族と話をするものの、家族自体が利用者を避けている方が多い。送迎時時間が限られる。④ 地域の資源を把握していない。④ 民生委員とのかかわりが少ない。  
④ 地域との関係がわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。  
家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10	4		14人

前回の改善計画  
「訪問」があまりできていない。「通い」「宿泊」が中心となっている。  
→どのような訪問が利用者の支援になり得るか考える。

前回の改善計画に対する取組み結果  
令和2年より月200回以上の訪問となったので訪問体制強化加算をつけることになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	7	4	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		10	4		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		13			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	10			14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

② 家族のニーズに合わせて柔軟に対応している。②本人の状況、家族の協力の度合いに応じて通い、泊まり、訪問の日数を調整できている。  
③ 本人の変化は随時、情報の共有が図られている。③記録からも変化がわかる。③ミーティングで共有している。③訪問することで把握できる。③1日数回訪問する利用者は、自宅に連絡ノートを置き、家族、職員間で情報を共有している。  
④ 急な体調変化、家での転倒などの発生に際し、速やかに訪問を行い、状況把握に努めている。④利用しない日は訪問し支援、その時の様子を伝える。④利用者一人一人に合わせた訪問の内容となっている。④利用者の動きに合わせて予定外の訪問も行っている。④家族の都合による急な通いや宿泊に対応している。④本人の状態に合わせて通いを休みにしたり時間をずらしたりしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① 地域の資源を使って支援していない。  
② 通いが多い。  
③ できている利用者、できていない利用者がいる。ふだんから目立つ利用者は変化に気づきやすいがそうでない利用者を見落としがちではないか。  
④ 具合が悪くなった時の支援。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

訪問を引き続き増やしニーズに即した支援をしていく。  
コロナが収束したら、地域のイベントに参加することを試みる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

6. 連携・協働

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	6	1	14人

前回の改善計画  
かかわる職員に限られているため、他の職員が取り組みを理解していない。  
→職員会議にて引き続き取り組みの発表、報告を継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
職員会議にて引き続き取り組みの発表、報告を継続していく。連携・協働などは職員に関心を持ってもらえるように会議・連絡ノートを通じて報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	1	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	1	8	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			2	9	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	1	9	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
① 福祉用具は会議の参加がある。③職員会議で発表している。④爪切りボランティアを行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
② 地域の活動、イベント参加③地域とのかかわりを持っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
会議の内容をタブレットの記録に入力し、職員間で情報を共有する。職員会議でも発表していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

7. 運営

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	8	4		14人

前回の改善計画	地域と協働した取り組みができていない。職員同士の会話が多い。報連相ができていない →連絡ノートで情報提供する。職員会議で情報を交換している。
前回の改善計画に対する取組み結果	連絡ノートで情報提供している。職員会議で情報を交換している。コンビニなどと連携を取った。会議の時間を利用して学習を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	2	4	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	1	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	2	5	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	3	2	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①職員間の報連相はある程度できていると思う。①連絡ノートで情報交換ができています。</p> <p>① 職員会議で発表が増えた。①職員会議で理事長に対し意見や要望を言うことができている</p> <p>②家族、利用者からの苦情に対し、苦情処理を行い会議等で話し合うなどし真摯に向き合っている。②利用者や家族からの意見や苦情に対し早めに対応し反映できている。②利用者家族からの意見を聞きリーダーに報告している。②家族の意見などは報告して共有している</p> <p>② 運営推進会議で家族の意見を聞き、運営に反映している。④地域の行事参加(よし焼き)</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①私語が多い。①意見を言ってもかき消されたり本心を言っていない。③地域の方の意見は聞いていない。</p> <p>③地域との関わりをしていない。③苦情意見に対し反映しているが全てにはできていない。④地域との協働した取り組みをしていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。</p> <p>私語を少なくし利用者中心の会話をすることを継続していく。</p> <p>意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	8	4	1	14人

前回の改善計画  
 新たなリスクを意識しながら動けていない。(目配り・気配りが足りない)。  
 →研修計画を作成し職員一人が最低1つは研修に参加する。事故の再発防止策について具体的に考え共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 外部講師を招いて介護技術講習を全員が受けた。  
 職員会議での事故報告を各担当者に発表してもらおうやり方を変更した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	4	2	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	2	4	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	1		2	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	5	2	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① 職場内の研修を行っている。(コロナ感染対策、認知症の学習)  
 ⑤ 事故報告を職員会議の議題とし全職員が振り返ることができるよう取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① 職場外の研修はない。③地域連絡会に参加していない。④思った以上に事故が起こっている。④目が行き届かず利用者のトラブルや転倒などが多い。④事故報告書の再発防止策は記入者が考えたもので、再発防止策を実施していないため同じ利用者の事故が多発している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

研修で学んだことを実践で活かしていく。  
 事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。  
 転倒リスクの高い利用者について、朝のミーティングで情報共有して意識づけていく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 1日

9. 人権・プライバシー

メンバー 亘、矢島、三ッ森、菅井、川島、砂永、高木、田村、樋口、小井田、石井、斉藤、江原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10	3		14人

前回の改善計画	職員の声が大きくて聞こえてしまうのか、利用者が他の利用者の情報を知っていることがある。 →適切な声かけを行い他の利用者に聞こえないよう配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	時間がなく対象者もいないため成年後見人の学習はできていない。 職員の声のトーンが大きくなるよう注意を喚起している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5			14
②	虐待は行われていない	9	5			14
③	プライバシーが守られている	2	9	3		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	2	7	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	6	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	身体拘束は行われていない。①鍵をかけず外出自由である。①無理強いをしない。②虐待は行われていない。③情報共有の際、利用者に聞こえないように配慮している。③利用者のプライバシーについて話し合っている。③トイレ誘導の声かけは小声で行っている。③申し送りの際は声のトーンに気を付けている。③申し送りは個人名を出さず音楽をかけて聞こえないようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	眼鏡をかけず視界を減らすことは虐待・拘束だと思う。①遠くから叫びすぎ。①利用者に近づかず言葉で利用者の動きを止めようとしている③フロアでの職員間の会話が利用者の個人情報。③トイレ誘導など利用者に聞こえてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見人制度が必要な利用者がいれば学習の場を設ける (現在は対象者はいない)。職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する (特に排泄のことを話す時)。頻回に注意を喚起していく。遠くから叫ぶのではなく、近づいて利用者の視界に入り、穏やかに声をかける。	